

《乳癌の抗がん剤療法》

無断転載禁止

1 AC 1サイクル=21日間 4サイクル

催吐性リスク		高度									
順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2	3	4-21		
	アプレピタントカプセル	制吐 初日125mg,2,3日目80mg			内服	●	●	●			
	生食 100 ml	ブライミング				●					
1	アロキシ 0.75 mg デキサート 9.9 mg 生食 100 ml	制吐			点滴30分	●					
2	㊶㊱ドキシロピシン 生食 50 ml	壊死性 60 mg/m ²	必要	不要	点滴15分	●	×	×	×		
3	㊴㊵エンドキサン 生食 100 ml	600 mg/m ²	必要	必要	点滴30分	●	×	×	×		
4	生食 100 ml				点滴	●					

2 EC 1サイクル=21日間 4サイクル

催吐性リスク		高度									
順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2	3	4-21		
	アプレピタントカプセル	制吐 初日125mg,2,3日目80mg			内服	●	●	●			
	生食 100 ml	ブライミング				●					
1	アロキシ 0.75 mg デキサート 9.9 mg 生食 100 ml	制吐			点滴30分	●					
2	㊴㊵㊶㊱エピルピシン 生食 50 ml	壊死性 90-100 mg/m ²	必要	考慮	点滴15分	●	×	×	×		
3	㊴㊵エンドキサン 生食 100 ml	600 mg/m ²	必要	必要	点滴30分	●	×	×	×		
4	生食 100 ml				点滴	●					

3 FEC100 1サイクル=21日間 術後補助療法でfollowタキサンの場合3-4サイクル

催吐性リスク		高度		followタキサンない場合、6サイクル考慮							
順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2	3	4-21		
	アプレピタントカプセル	制吐 初日125mg,2,3日目80mg			内服	●	●	●			
	生食 100 ml	ブライミング				●					
1	アロキシ 0.75 mg デキサート 9.9 mg 生食 100 ml	制吐			点滴30分	●					
2	㊴㊵㊶㊱エピルピシン 生食 50 ml	壊死性 100 mg/m ²	必要	考慮	点滴10分	●	×	×	×		
3	㊴㊵エンドキサン 生食 100 ml	500 mg/m ²	必要	必要	点滴30分	●	×	×	×		
4	フルオロウラシル 生食 50 ml	500 mg/m ²	重度考慮	重度考慮	点滴全開	●	×	×	×		
5	生食 100 ml				点滴	●					

4 wパクリタキセル 1サイクル=28日間* 補助化学療法の場合4サイクル

催吐性リスク		軽度		*補助化学療法では、12週連続可能							
順	薬品名	投与量	肝	腎	経路・時間	1	8	15	16-28*		
1	生理食塩液 100 mL デキサート 8.25 mg ボラミン 5 mg ファモチジン 20 mg	制吐/抗アレルギー			点滴30分	●	●	●	×		
2	生食100 mL				点滴30分	●	●	●	×		
3	㊦㊰㊱wパクリタキセル 生食 250 mL	壊死性 80-100 mg/m ²	必要	不要	点滴60分	●	●	●	×*		
4	生食 100 mL				点滴	●	●	●	×		

5 3wdセタキセル 1サイクル=21日間 補助化学療法の場合4サイクル

催吐性リスク		軽度									
順	薬品名	投与量	肝	腎	経路・時間	1	2-21				
1	生食 100 ml デキサート 6.6 mg	制吐			点滴30分						
2	㊶㊱ドセタキセル 生食 250 ml	壊死性 補助進行 75 mg/m ² 60 mg/m ²	必要	不要	点滴60分	●	×				
3	生食 100 ml					●					

薬品名の印 ㊦ filter ㊨ hydration ㊰ premedication ㊱ route flush ㊳ supportive therapy ㊴ Time control ㊵ washout ㊶ vesicant drug

* 肝腎機能の項は、指標があるものは「必要」or「不要」、明瞭でないものは「考慮」or「不明」で表記

6 **アバステン+パクリタキセル併用療法** 1サイクル=14日間

無断転載禁止

催吐性リスク		軽度		投与量		肝	腎	経路・時間	1	8	15	16-28
1	生理食塩液 100 mL デキサート 8.25 mg ポラミン 5 mg ファモチジン 20 mg	制吐 /抗ア レル キ-						点滴30分	●	●	●	×
2	生食 100 mL ㊴アバステン 生食 100 mL			10 mg/kg	不明	不明		点滴90/60/30分	●	×	●	×
3	㊦㊰㊶パクリタキセル 生食 250 mL	壊死 性		90 mg/m ²	必要	不要		点滴60分	●	●	●	×
4	生食 100 mL							点滴	●	●	●	×

7 **3wHER±化学療法(アンスラサイクリン系除く)** 1サイクル=21日間

術後補助の場合、HERは1年間投与。

催吐性リスク		最小度		投与量		肝	腎	経路(分)	1	8	15	
㊴	トラスツズマブ			初回 8mg/kg 2回~ 6*mg/kg	不明	不明	d.i.v. (>90) d.i.v. (>30)	●	×	×		3週毎投与
併用レジメン(アンスラサイクリン系を含むレジメンは除外)									別項のレジメン参照			

* 投与予定日より1週間を超えて投与する場合は、初回投与量で行うことが望ましい

(例) **3wHER±ドセタキセル** 1サイクル=21日間

補助化学療法の場合は、HERは1年間、ドセタキセルは4コース。

催吐性リスク		軽度		投与量		肝	腎	経路・時間	1	2-21
	生食 100 mL							プライミング	●	
1	生理食塩液 100 mL デキサート 6.6 mg	制吐						点滴30分	●	×
2	㊴トラスツズマブ 生食 250 mL			初回 8mg/kg 2回~ 6mg/kg	不明	不明	点滴90/30分	●	×	
3	㊵㊶ドセタキセル 生食 250 mL	壊死 性		75 mg/m ²	必要	不要	点滴60分	●	×	
4	生食 100 mL						点滴	●	×	

8 **wHER±化学療法(アンスラサイクリン系除く)** 1サイクル=7日間

術後補助の場合、HERは1年間投与。

催吐性リスク		最小度		投与量		肝	腎	経路(分)	1	2-7	
㊴	トラスツズマブ			初回 4mg/kg 2回~ 2*mg/kg	不明	不明	d.i.v. (>90) d.i.v. (>30)	●	×		毎週投与
併用レジメン(アンスラサイクリン系を含むレジメンは除外)									別項のレジメン項目参照		

* 投与予定日より1週間を超えて投与する場合は、初回投与量で行うことが望ましい

(例) **wHER±パクリタキセル** 1サイクル=28日間

補助化学療法の場合は、HERは1年間、パクリタキセルは4コース。

催吐性リスク		軽度		投与量		肝	腎	経路・時間	1	8	15	22	23-28
	生食 100 mL							プライミング	●	●	●		
1	生理食塩液 100 mL デキサート 8.25 mg ポラミン 5 mg ファモチジン 20 mg	制吐 /抗ア レル キ-						点滴30分	●	●	●		
2	生食 100 mL ㊴トラスツズマブ 生食 250 mL			初回 4mg/kg 2回~ 2mg/kg	不明	不明	点滴90/30分	●	●	●	●	×	
3	㊦㊰㊶パクリタキセル 生食 250 mL	壊死 性		100mg/m ²	必要	不要	点滴60分	●	●	●	×	×	
4	生食 100 mL						点滴	●	●	●	●		

薬品名の印 ⑤ filter ⑥ hydration ⑦ premedication ⑧ route flush ⑨ supportive therapy ⑩ Time control ⑪ washout ⑫ vesicant drug
 * 肝腎機能の項は、指標があるものは「必要」or「不要」、明瞭でないものは「考慮」or「不明」で表記

無断転載禁止

(例)wHER±weeklyパクリタキセル 1サイクル=7日間

催吐性リスク 軽度 補助化学療法の場合は、HERは1年間、パクリタキセルは12週間。

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路・時間	1	2-7
	生食 100 mL				プライミング	●	
1	生理食塩液 100 mL デキサート 8.25 mg ポラミン 5 mg ファモチジン 20 mg	制吐 /抗ア レル ギー			点滴30分	●	
2	⑩トラスツズマブ 生食 250 mL	初回 4mg/kg 2回~ 2mg/kg	不明	不明	点滴90/30分	●	×
3	⑦⑧⑨パクリタキセル 生食 250 mL	補助 80mg/m ²	必要	不要	点滴60分	●	×
4	生食 100 mL				点滴	●	

9 パーシエタ+3wHER±化学療法 1サイクル=21日間

催吐性リスク 最小度 術前・術後補助の場合、トラスツズマブ、パーシエタは1年間まで

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2-21	
1	⑩パーシエタ	初回 840mg/body 2回~ 420*mg/body	不明	軽中 不要	d.i.v. (>60) d.i.v. (>30)	●	×	3週毎投与
2	⑩トラスツズマブ	初回 8mg/kg 2回~ 6*mg/kg	不明	不明	d.i.v. (>90) d.i.v. (>30)	●	×	3週毎投与
3	併用レジメン(タキサン系)							別項目のレジメン参考

(例)パーシエタ+3wHER+ドセタキセル 1サイクル=21日間

催吐性リスク 軽度

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路・時間	1	2-21
	生食 100 mL				プライミング	●	
1	生理食塩液 100 mL デキサート 6.6 mg	制吐			点滴30分	●	
2	⑩パーシエタ 生食 250 mL	初回 840mg/body 2回~420mg/body	不明	軽中 不要	点滴60/30分	●	×
3	⑩トラスツズマブ 生食 250 mL	初回 8mg/kg 2回~ 6mg/kg	不明	不明	点滴90/30分	●	×
4	⑫ドセタキセル 生食 250 mL	75mg/m ²	必要	不要	点滴60分	●	×
5	生食 100 mL				点滴	●	

10 カドサイラ単剤療法 1サイクル=21日間

催吐性リスク 軽度

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路・時間	1	2-21
	生食 100 mL				プライミング	●	
1	生理食塩液 100 mL デキサート 6.6 mg	制吐			点滴30分	●	
2	⑩カドサイラ 生食 250 mL	3.6mg/kg	不明	不要	点滴90/30分	●	×
3	生食 100 mL				点滴	●	

11 HAL 1サイクル=21日間

催吐性リスク 軽度

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路・時間	1	8	9-21
	生食 100 mL				プライミング	●	●	
1	生理食塩液 100 mL デキサート 6.6 mg	制吐			点滴30分	●	●	×
2	ハラヴェン 生食 50 mL	1.4 mg/m ²	必要	必要	点滴2-5分	●	●	×
3	生食 100 mL				点滴	●	●	×

薬品名の印 ① filter ② hydration ③ premedication ④ route flush ⑤ supportive therapy ⑥ Time control ⑦ washout ⑧ vesicant drug

* 肝腎機能の項は、指標があるものは「必要」or「不要」、明瞭でないものは「考慮」or「不明」で表記

12 **VNB** 1サイクル=21日間

無断転載禁止

催吐性リスク		最小度							
順	薬品名	投与量	肝	腎	経路・時間	1	8	9-21	
1	生食100 mL					●	●		
2	①②③④⑤⑧ロゼウス 生食 50 mL	25 mg/m ²	必要	不要	点滴5分	●	●		×
3	ソルデム1 200ml				点滴	●	●		×

13 **GEM** 1サイクル=21日間

催吐性リスク		軽度							
順	薬品名	投与量	肝	腎	経路・時間	1	8	9-21	
1	生理食塩液 100 mL デキサート 6.6 mg				点滴30分	●	●		×
2	①②③④⑤⑧⑨⑩ 5%ブドウ糖液 100 mL	1250 mg/m ²	必要	考慮	点滴30分	●	●		×
3	生食 100ml				点滴	●	●		×

14 **3wアブラキサン** 1サイクル=21日間

催吐性リスク		軽度							
順	薬品名	投与量	肝	腎	経路・時間	1	2-21		
1	生理食塩液 100 mL デキサート 6.6 mg				点滴30分	●			×
2	⑧⑨⑩アブラキサン 生食 100 mL	260 mg/m ²	必要	不要	点滴30分	●			×
3	生食 100 mL				点滴	●			×